

第34回 The 34th Annual Meeting of the Japan Society for Blood Purification in Critical Care 日本急性血液浄化学会学術集会

ホーム

会員挨拶

開催概要

参加登録のご案内

プログラム・目録表

共催セミナーのご案内

演題募集

※演題募集を締め切りました。
多くの演題をご登録いただき有り難
うございました。

Best presentation award

一般演題の採択結果

参加者へのご案内

司会、演者の方へのご案内

急性血液浄化の パラダイムシフト

会期 2023年9月30日(土)・10月1日(日)

会場 ウィンクあいち

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

会長 森山 和広

藤田医科大学医学部 臨床免疫制御医学講座

これでわかる！セミナー17

10月1日(日曜日) 13:45~14:10 第4会場

「英語論文の読み方」

司会：栗山直英（藤田医科大学麻酔・侵襲制御医学講座）

演者：上野琢哉（東京医科大学八王子医療センター腎臓外科・移植外科）

名古屋での発表依頼があり、学会参加ならびに発表してきました。

本学会で扱う透析療法は、大学病院や基幹病院の救急・ICUでの全身管理の重要な一翼をなす部門であり、自身も評議員の1人として会の運営に携わっております。

“英語論文の読み方”という題目で、医学的な内容とは少し離れている内容でしたが、自身が経験してきた日本とアメリカの生活間での感じた事や日本人が苦手とするアウトプットの重要性を話してきました。社会生活における日本人の奥ゆかしさも重要ですが、外科や救急領域では厳しい事実を伝えなくてはならない事も時に人を救う事があります。

例えばガンでの余命宣告や救急領域での脳死宣告。説明を受けた本人やご家族のお気持ちを考えると本当に申し訳ないと思う一方で、『これからの時間を考えるキッカケになりました』や『臓器提供をした事でまだ子供は生きている』等のお話を頂く事もありました。

現在も定期的に大学病院での手術や日本消化器外科学会における高難度手術に分類される高度先進医療に従事しております。小さなクリニックではありますが、患者さんやご家族の気持ちに少しでも近づける治療が提供できるよう、職員と共に頑張っていければと思っています。

学会参加での臨時休業や診療時間変更等で患者さんにご迷惑をお掛けする事もあるかと思いますが、ご理解頂けましたら幸いです。